

1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）

1.1. 方法

- ・Cs に対して選択吸着性のある海緑石を土嚢袋もしくは通液性のある袋に充填し、港湾内海底に静置する。

1.2. 放射性核種の吸着性能

- ・海緑石の Cs 選択吸着性能は、農研機構の「放射性物質吸着資材に関する効果実証試験」公募においてプルシアンブルーとともに Cs 吸着性能が認められている。^{1,2)} また、放射性 Cs の海水中の Kd 値測定試験において、海緑石は天然モルデナイトを上回る値を得ている。
- ・海緑石は、海洋中で生成した鉱物であることから、港湾内での吸着剤としての使用に対し、抵抗感が少ないものと考ええる。

1) <http://www.naro.affrc.go.jp/topics/laboratory/naro/044864.html>

2) http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/045776.html

1.3. 保有者

- ・窓口：日揮株式会社
- ・海緑石供給元：昭和電工株式会社

2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）

- ・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む）
 - －模擬海水中での放射性 Cs の Kd 値データは取得済み。
 - －砕いて粒径をそろえる技術は既存方法で対応可能。
- ・開発・実用化に向けた課題・留意点
 - －Sr に対する性能（Kd 値の測定など）に係るデータの採取。
- ・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）